

来青花

永井荷風

青空文庫

ふぢやまぶき

藤山吹の花早くも散りて、新樹のかけ忽ち小暗く、盛久しき

つじ

躑躅の花の色も稍うつろひ行く時、松のみどりの長くのびて、金

んじき

色の花粉風来れば烟の如く飛びまがふ。月正に五月に入つて旬

きた

日を経たる頃なり。もし花卉を愛する人のたま〜わが廃宅に訪

ひきた

来ることあらんか、蝶影片々たる閑庭異様なる花香の脉々

てふえい

として漂へるを知るべし。而して其香氣は梅花梨花の高淡なるに

ていかう

あらず、丁香薔薇の清涼なるにもあらず、将又百合の香の

しやうび

重く悩ましきにも似ざれば、人或はこれを以て隣家の厨に林檎を

もれきた

焼き蜂蜜を煮詰むる匂の漏来るものとなすべし。此れ便先考来

いせい

青山人往年滬上より携へ歸られし江南の一奇花、わが初夏の

こじやう

きくわ

清風に乗じて盛に甘味かんみを帯びたる香氣を放てるなり。初め鉢植に
てありしを地に下くだしてより俄に繁茂し、二十年の今日既に来青らいせい
閣かくの檐えん辺べんに達して秋暑の夕よく斜陽の窓を射るを遮るに至れり。
常磐木ときはぎにてその葉は繭木もちに似たり。園丁これをオガタマの木と呼
べどもわれ未いまだオガタマなるものを知らねば、一日座右いちにちざうにありし
萩はぎの家や先生が辞典を見しに古今集さんぼく三木の一古語にして実物不詳
とあり。然されば園丁の云ふところ亦遽にはかに信ずるに足らず。余屢先しばく
考の詩稿を反復すれども詠吟いまだ一首としてこの花に及べるも
のを見ず。母に問ふと雖いへどもまた其の名を知るによしなし。此こゝに於て
われ自みづから名づくるに来青花らいせいの三字を以てしたり。五月薰風簾を
動うごし、門外うごしきりに苗売の声も長閑のどかによび行くあり。満庭の樹影

青苔せいたいの上によこたはりて清夏の逸興にはかきた遽きたに来るを覚ゆる時、われ
 年々来青花のほとりに先考所蔵の唐本たうほんを曝して誦読日の傾くを
 忘る。来青花その大おほいき桃花の如く六瓣にして、其の色は黄ならず
 白ならず恰も琢磨したる象牙の如し。而して花瓣しかの肉甚厚く、仄ほのか
 に臙脂くまどりの隈取をなせるは正に佳人の爪つま紅べにを施したるに譬ふべ
 し。花心くわしん大にして七菊花の形をなし、臙脂の色濃く紫にまがふ。
 一花いつくわ落つれば、一花開き、五月を過ぎて六月霖雨りんうの候こうに入り花
 始めて尽く。われ此の花に相對して馥郁かうふたる其の香風かうふうの中に坐
 するや、秦淮しんわい秣陵まつりようの詩歌しいかおのづから胸中に浮うかびきたるを覚
 ゆ。今試こころみに菩提樹の花を見てよく北欧の牧野ぼくや田家でんかの光景を想像し、
 橄欖樹の花に南欧海岸の風光を思ひ、リラの花くわかう香かうに巴里庭園パリの

美を眼前に彷彿たらしむることを得べしとせんか。月の夜萩と芒の影おのづから墨絵の模様を地に描けるを見れば、誰かわが詩歌俗曲の洒脱なる風致に思到らざらんや。われ茉莉素馨まつりそけいの花と而してこの来青花に対すればかならず必先考日夜愛読せし所の中華の詩歌樂府がくふ艶史たぐひの類を想起せずんばあらざるなり。先考の深く中華の文物を憬いぼ慕せらるゝや、南船北馬その遊跡十八省あまねに遍くして猶足れりとせず、遙に異郷の花木を携たづさへかへりてこれを故園に移し植ゑ、悠々として余生を楽しみたまひき。物一ひとたび度愛すれば正に進んで此かくの如くならざる可からず。三昧きやうの境に入るといふもの即ちこれなり。われ省みてわが疎懶そらんの性遂にこゝに至ること能はざるを愧づ。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆1 花」作品社

1983（昭和58）年2月25日第1刷発行

2001（平成13）年3月20日第29刷発行

底本の親本：「荷風全集 第一四卷」岩波書店

1963（昭和38）年6月発行

入力：門田裕志

校正：noriko saito

2009年11月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

来青花

永井荷風

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>